

Wadaiko Tokara News

2013年 1月

TOKARA 公演情報

- 3月22～24日: [1001Buddhas](#)~千一体の仏陀~アメリカ ミネアポリス ミネソタ州,
会場 *Cowles Center for the Performing Arts*
- 3月29～30日: 風越～アメリカ セントポール ミネソタ州, 会場 *Dreamland Arts Theatre*
- 4月28日 (日): 風越～カナダ ケローナ, 会場 *Kelowna Community Centre*
- 5月10～11日: 風越～イギリス ビーサム, 会場 *Heron Theatre*
- 5月18日 (土): 風越～イギリス コーンウォール, 会場 *Minack Theatre*
- 5月25日 (土): 風越～イギリス エクセター 会場 *Barnfield Theatre*
- 5月27～29日: 太鼓研修コース アイルランド ダブリン, 場所 *Taiseiyo Taiko Dojo*
- 6月17～29日: [伊那谷和太鼓コースグランドツアー](#)、長野県阿智村
- 6月29日 (土): [幸い下伊那和太鼓フェスティバル](#)、長野県飯田市
- 8月1～26日: 風越～スコットランド エディンバラフリンジ祭, 会場 *C too Mainhouse, Edinburgh*

誰か私の一時停止ボタンをおしてー！！

(ティーン ハビックスベック 著、トカラスタッフ 訳)

さて、やっとひと息。ニュースレターの更新をします。今回は少し長めの読み物になりそうですよ。あなたのお好きなマグカップに大好きな飲み物を用意して、くつろぐ場所を見つけたら.....それでは、エキサイティングなお話をお楽しみください。

前回のニュースレターでは、7月にある大きな2つのイベントに向けて準備をしているところで終わりました。まず初め私達は、光栄な事に”アンサンブルリベルタ”初の飯田市でのコンサートをお手伝いさせていただきました。ホールの中でリベルタさん達がリハーサルをしていると、わくわくするエネルギーを感じられます。リベルタさんの編曲された伝統曲やオリジナル曲の演奏は、観客を魅了し、更に聞きたいという気持ちにさせます。山田先生の多様な範囲におよぶ尺八の演奏技術から、



無限響太鼓の皆さん。

(曲間での温かなユーモアたっぷりの彼のトークも忘れてはなりません) 竹田先生の琴での力強くも繊細で巧みな指さばきまで。毎回思いますが、リベルタさんの演奏を聴くと幸せな気持ちになります。

さあ、休んでいる時間はありません...。次は「幸い下伊那和太鼓フェスティバル」です。午前中のFRINGEには6つの和太鼓グループが出演し、夜のスーパーショーでは「無限響」と私達トカラが出演しました。

今年ゲスト出演して頂いた「無限響」と彼らの生徒さんのグループ「むげん太鼓道場」がこの日の演奏のため、はるばるスコットランドからお越し下さいました。ワオ！お祭りは衝撃的な始まりでした。「むげん太鼓道場」の演奏は、観客を刺激的な気分にしてくれました。なんとも素晴らしくエネルギーに満ちあふれたスーパーショーへの導入でした！夜のスーパーショーでは、「無限響」のパワフルな演奏で会場は拍手喝采に包まれました。彼らは確実に飯田市に何人もの新しいファンを作ったことでしょう。そして、私達も彼らと今後また会える事を楽しみにしています。忘れられないパフォーマンスをして下さった「無限響」にもう一度感謝いたします。

「幸い下伊那和太鼓フェスティバル」が終わり早くも8月に入り、昼神の響き（私達の一ヶ月間に及ぶ演奏披露です。）、和太鼓ブートキャンプ、そして湿気と暑さが私達を待ちわびていました。はじめに、昼神での毎日の決まった仕事は；野外ステージに到着し、荷解き、締め太鼓を締める、ステージに太鼓をセットする、演奏、それから車へ荷物を詰め込みます。

毎日の決まった仕事とはいっても、そればかりとは限りません。4日の夜は私達の教室グループと飯田で交流し、飯田りんごん祭りで演奏をしました。踊り、混み合う通り、花火そして太鼓。どれもお腹を空かすにはもってこいです。

次の日、アートはアンサンブルリベルタさんとの公演のため長崎県最西の島の一つである小値賀島へと旅立ちました。4回の演奏を終え六日後、アートは小さな島での素敵な物語を携えて、トカラ和太鼓ブートキャンプの準備のため戻ってきました。今年は17名7カ国からの参加者がありました。参加者は、日中の厳しくも実りある練習、午後の昼神の響き、温泉（時々眠ってしまいますが...）、お盆祭り、そして仕上げには打ち上げ花火にと、準備満タンで挑みました。誰がこんなに欲張ってよいでしょうか？浅野太鼓（＝太鼓奏者にとってのおも



飯田りんごん祭りにて、TOKARA、なでし鼓、酔鼓。



ブートキャンプ最終日に演奏！

月、カナダバンクーバーで演奏した際の出演料をこの公演への経費としました。私達の旅は金曜夜に始まりました。荷造りをし飯田市を出発、11時間の運転をして土曜日朝の宮古市での最初の演奏へ向かいました。睡眠時間はありません。その演奏が終わったらすぐに、南沿岸へ大槌に向かいました。彼らの住むエリアのがれき処理や建物の再建築を並外れた早さで終わらせた大変な仕事への賞賛を受け取るべき方々の為に演奏できたのは本当に幸せなことでした。夜を徹しての車の移動の後、一日2度の演奏。やっとここで一息...とは行かず、次の朝には、地元飯田でもう1つの演奏が待っています。早速、車に太鼓と自らを詰め込み、またまた11時間の長い長い帰路につきました。何とか次の朝、地元の健康まつりの演奏に間に合い、「なでし鼓」の皆さんと気持ちの良い青空の下、演奏させて頂きました。

さあ、やっとこの日は、ここで一息...本当に短い一息...。と言うのも、また次の日は、名古屋で公演があり、朝から再び車に乗り込みます。日本での今年最後の

「天地神明」公演のため、名古屋市北区の小学校に伺いました。朝からあいにくの雨。なぜか私が名古屋に出掛けると雨が降るのは...私が雨男だからでしょうか...とにかく激しい雨が迎えてくれました。そして勿論、とても温かいスタッフの皆様とお客様も待っていてくださり、公演後、子供達とのワークショップでは一緒に「三宅太鼓」を叩きました。

この名古屋公演が終わり、今年の日本ツアーも幕を閉じ、怒涛の様に走り続けた半年を振り返りつつ、やっと一息つける時がやって来ました。10月のヨーロッパツアーに向け少しの休息です。メンバーは各々休暇を過ごしつつ、荷造りを済ませ、次なるツアーの拠点、ベルギーはアントワープに向け旅立ちました。

ちゃ屋さん)への旅行、アートが出演した「東京国際和太鼓コンテスト～歴代グランプリの祭典～」の入場券。こんなにも素晴らしいものはもう得られないと私は思います。なんて幸福な一ヶ月だったでしょう！

8月が過ぎ去る間も、私達はまだ終焉からは遠いところにいました。秋ヨーロッパツアーへ出発準備を始めた矢先、5日間で4回の公演をすることが決まりました。最初2つの公演は岩手県へ、昨年地震や津波の被害に遭われた地域の方々へ向けて演奏をさせていただきました。アートは5



みさか旅館で皆一緒に。

激動の日々、太鼓！太鼓！チョコ！太鼓！

(小野澤 貴史 著)

2012年10月中旬、私達はベルギーのAntwerp（アントワープ）市にいました。ヨーロッパツアーの始まりです。アントワープ市はベルギーの第二の都市と言われており、日本のアニメ「フランダースの犬」の舞台にもなった都市です。市内最大の建造物であるアントワープ大聖堂にはネロが最後に見たルーベンスの絵も飾ってあり、大聖堂前の広場には小さな石碑もあります。

ベルギーと言えばチョコレートでも有名な国ですが、本当にチョコレートが美味しい素敵な所です。毎朝パンにチョコを塗って食べていましたが、一口食べるたびにベルギーに来て良かったと思った



大聖堂前の広場のネロとパトラッシュ。



右の女性がグレッタさんです。

ものです。そのベルギーにどうしてやって来たのかと言うと、もちろんチョコレートの為、ではなく、地元の太鼓グループ「フェニックス太鼓」の皆さんと一緒に公演を行わせて頂く為です。フェニックス太鼓のリーダーであるグレッタさんは、数年前にTOKARAの伊那谷和太鼓コースに参加された時から交流が続いている方で、ヨーロッパでのワークショップの企画など、積極的にTOKARA

に助力して下さっている太鼓仲間です。フェニックス太鼓の皆さんとは6ヶ所の会場で公演させて頂きました。その最初の公演が11月にあり、それまではグレッタさんの道場をお借りしてひたすら練習に尽力しました。

そんなある日、私の先輩のディーンの身に悲劇的な出来事がありました。皆で外を歩いていたら帰りの途中、工事中のビルを通り過ぎる時にカラカ



奥に見えるのは「鉄道の大聖堂」とも呼ばれているアントワープ中央駅です。



会場を闊歩していたR2-D2、リモコン操作です。

いるのです。なのでディズニーのプリンセスの隣でゾンビのカップルが買い物をしていたり、ダースベイダーの歩く先をプレデターが歩いたり、ゲーム機のWiiリモコンが単体でテクテク歩いたりして、本当に会場を見ているだけでも飽きません。コスプレの用途や意図は一切分かりませんが、写真を撮ろうとすると誰もが皆ノリノリでポーズを決めてくださるので、きっと楽しいのだろうと思います。演奏は最初にフェニックスの皆さんが演奏し、次に私達が「MIZUKAGAMI」と「波頭の響き」を演奏させて頂きました。会場はとても大盛り上がりで、ゾンビも兵隊も魔女も皆さんが歓声を上げてくださり、それは通路がふさがって通れなくなる程の勢いでした。お客様の1人が撮って下さったその時の映像があるので興味のある方は是非 [こちらまでお越し下さい。](#)

そんな事もありつつ時は流れ11月2日、私達はフェニックス太鼓の皆さんと一緒に最初のコンサート会場があるOostende (オステンド)市に

ラッと何かが落ちる音がして、それに気づくと同時にディーンがとても大きな声をだして頭を抱えうずくまりました。信じられない事に工事中のビルの屋上からコンクリートの破片が投げ捨てられていて、ディーンはそれに当たってしまったのです。その後病院に行きましたが、不幸中の幸いか打ち所がよかった様子で軽い怪我だけで済み、すぐに元気になりました。それにしても破片とは言え屋上から落とされたコンクリートの塊が頭に当たったのにピンピンしてるとは驚きです、もしかしたら太鼓打ちをしていると心身が屈強に鍛え上げられるのかもしれないね。

またある日の事、私達はフェニックスの皆さんと一緒にGent(ヘント)市に行きました。この日は様々な漫画やアニメのグッズなどが販売されるイベントがあり、そこで太鼓の演奏を行わせて頂きました。とても大きな会場にフリーマーケットの様な形でお店が広がっていて、品物はライトセイバーだったり何かのイラストであったり、アニメが好きな方なら一日では足りない程いろんなものが販売されています。また、買いに来てる人達のコスプレにも目を見張るものがあり、このイベントでは不思議な事にスタッフでもなんでもない一般の方がなにかしらのコスプレをして来て



フェニックスの皆さんが演奏中、振動が体中に響きます。



太鼓の音で雨雲を吹き飛ばしたら虹がかかりました。

音がしました。ここでの演奏もオステンド市と同じ向かい合わせの形でしたが、向かい側で演奏しているはずのフェニックス太鼓の音が後ろから聞こえる程音が反響していました。

それから少し間が空いて11月10日、次はアントワープの隣に面してるMortsel(モルツェル)市へと行きました、この日は長い1日でした。その会場では控え室が地下にあり、部屋がそれぞれ赤一色だったり青一色だったりとユニークなデザインの会場でした。その日はベルギーで借りているアパートの下の階に住んでいるお婆さんがコンサートを見に来られていて、嬉しい事に後日とても興奮しながら褒めて下さったのが印象に残っています。



チョコレート×ワッフル=ほっぺが落ちる。

行きました。海が近くにある公民館が会場で、この日の演奏はフェニックス太鼓とTOKARAが対面に向かい合い、お客様にはその間で交互に聞いて頂く様な形で披露させて頂きました。途中、伝統曲の「三宅太鼓」の時にアート・リーの太いバチが折れて放物線を描きながら飛んでいくアクシデントがありましたが、それも和太鼓の味な所と言う良い解釈をして頂けて歓声が上がりました。この豪快さも和太鼓の魅力ですね。

2日後、私達は再びヘント市へ行きました、今度の舞台は教会です。時折教会で演奏させて頂く機会がありますが、教会はとても音が響くので、全力で叩くとちょっとお尻が跳ね上がる位の大きな



アンコールで「ぶち合わせ太鼓」演奏！

す。またこの日はフルコンサートとなっていて、私達TOKARAが7曲、そしてフェニックス太鼓が6曲、更にそこからアンコール曲を2曲と、なんと合計15曲！！開演時刻が午後8時からとなっており、和太鼓でんこ盛り状態で迎えさせて頂きました。それから全てを終えて太鼓の片付けも済ませ、さあ帰ろうと言う頃には時計の針は深夜2時頃を刺していました。が、そこから更に興奮冷めやらぬ様子のグレッタさん達数人がアパートに来ているんな熱い話をしたり...この日は最後まで太鼓打ちのパワフルさを体感した貴重な1日となりました。

長かった1日も終わる時はあっという間に終わり、また練習に明け暮れる事幾数日、アート・リーのワークショップがドイツのDusseldorf(デュッセルドルフ)市でありました、その間の4日間、他のメ



スペインへと行く道の中で、約2名は夢の中で。

ツ、経済等を通じて日本を紹介するとともに、開催地住民も参加し、相互理解・友好親善を図る市民レベルの国際文化交流事業です。引用終わり。バレンシアへ向けてベルギーから丸3日かけて車で向かい。スペインの綺麗な青空と素敵な建物に癒されつつ無事に到着しました。また、このイベントにはアートが日本で教えている和太鼓教室の火曜日メンバー「なでし鼓」の皆さんも参加しました。

バレンシアは初めて蜜柑が生まれた所で街中のいたる所に野良蜜柑が生えています。また一年間のうち300日が晴れという気持ちの良い地中



ジャパンウィークの皆さんお疲れ様でした。

ンバーはベルギーでお休みです、私はここぞとばかりにショッピングや食べ歩きをして英気を養いました、チョコレートワッフルに大きなピザにステーキハウス、どれもこれも美味しくて一口食べるたびに本当にベルギーに来て良かったと思ったものです。

そんな素敵なベルギーから10日程離れる日が来ました。JapanWeek(ジャパンウィーク)と呼ばれるイベントがスペインのValencia(バレンシア)市で開催される為です。以下公式ホームページから引用、「ジャパンウィーク®」とは、日本の生活文化、芸能、美術、音楽、ファッション、スポー



バレンシアの小学校にて、子供達はとっても元気

海性気候ですが、私達が滞在した一週間で2回雨が降りました。ある意味貴重な経験をしました。バレンシアの滞在中はすべて忙しい日となり、初日は野外のオープニングフェスティバルで演奏し、夜の公演のリハーサルに行きそのままレセプションへと移動して、レセプションが終わる前に次の会場へ戻り公演のオープニングを叩かせて頂くという特に忙しい日となりました。前日に日本から来たばかりのなでし鼓の皆は時差ボケが直撃していながらもそれはそれは気持ち良さそうに演奏していました。その翌日は「森久美子フラメンコ舞踊団」というグループとのコラボレーションで公演させて頂きました。彼女達とはまた東京での凱旋公演が5月

に決まっています。詳しくは [こちら](#) をご覧下さい。次の日、気づいたらもう3日目です。もちろん休みはなく、3日目と4日目はそれぞれ違う小学校で演奏と簡単なワークショップを行い、その後は野外と舞台上で演奏をしました。小学校ではお昼をご馳走して頂き、そこで超巨大パエリアが出て来たのが衝撃的でした。5日目と6日目は共に舞台演奏を行わせて頂き、6日目の最終日は最後の最後である大トリを務めさせて頂きまして、二階席まで埋まったお客様方の地鳴りのような激しい歓声を浴び、気力や体力、ありとあらゆる力を絞りつくして叩かせて頂きました。スペインは青空が綺麗で人々は情熱的で優しい人が多く、子供達は皆元気でとても良い気持ちでいられ、また必ず来ようと思えるような国でした。そんな一週間をなでし鼓の松澤南さんが編集して一本の動画にして下さったので興味のある方は是非 [こちら](#) をご覧下さい。



レオポールツバーク市の会場でお昼をごちそうして頂きました、美味しかったー。

さてさて、スペインの激動の一週間を終えて教室の生徒さん達と別れ、私達はベルギーへと帰ります。ベルギーに戻ってからのコンサートはどれも波乱に富んだ内容となりました。

暦が変わり12月6日、今度の場所は Leopoldsborg (レオポールツバーク)市です。その会場にはキッチンがあり、お昼に豪華なランチを頂きました。その日もフルコンサートとなっていて、意気揚々と準備をしていたのも束の間、フェニックス太鼓のグレッタさんの調子が悪い事が判明し、更に不運な事にアートも朝にぎっくり腰を抱えていて、くしくも両グループのリーダーが万全とは呼べない状態でコンサートを迎える事となりました。しかしそれでも休む事は無く、2人共にソロパートもこなし、最後には

拍手喝采を頂きアンコール！辛さを決して表に出さず最後まで演奏した2人に私は心から敬服の念を抱きました。自分が同じ様に体調を崩したらどうするだろうか...と想像したその矢先に、今度は私の身に異変が起こりました。

2日後、Schoten(ショーテン)市でベルギー最後のフルコンサートを行わせて頂きました。その日は十分な準備時間があり、朝から場ミリ、照明設定、簡単なリハーサルをし、会場で美味しくお昼を頂きました。それからしばらくして突然私の調子が悪くなり、発熱腹痛嘔吐という病人のようなコンディションとなってしまいました。がしかし、2日前の2人の勇姿を見ていたので顔は陰しくなりつつもなんとか自分を奮立たせ。ベルギーのコンサートは波乱の展開もありましたが無事成功を納め幕を下ろしました。

その3日後、ヨーロッパツアーはもう少しだけ続きます。フェニックス太鼓の皆さんとオランダのHalfweg (ハーフウェイ)市に行きました。



ベルギー最後のフルコンサート会場！



三階建てのツインタワー！イベントが終わった後スタッフが一瞬で解体しました。

このコンサートは今までとは趣向が違い、新しい駅が立ち上がる記念パーティに、既に用意されたオーケストラの音楽に合わせて太鼓を叩くという内容のものでした。音楽に合わせて叩くリズムはすべてグレッタさんが考えて下さり、太鼓の四重奏を音楽に重ねる事となりました。その日は野外公演でしたが会場の形がこれまた凄い構造をしていて、まず中央のステージにはグレッタさんとアートが配置され、その両脇に三階建てのBOXが建てられ、そこの一部屋に1人ずつTOKARAとフェニックスが配置される様な形でした。私はBOXの二階で演奏しましたが、太鼓を叩くたびにBOXがグラグラ揺れて、私の頭には衝撃で崩れ落ちるイメージしかできませんでした。

そんな衝撃的な最後のイベントを終えた後、それより更に衝撃的な事がありました。ヨーロッパツアーのすべての用事が終わり、お借りしていたアパートの掃除も済ませた2012年12月12日、なんと私 小野澤 貴史 は研修生から準メンバーへなる事を認めて頂きました。この日は「ここがゴールではなく、ここからがスタートラインだよ。やっとスタートラインに立てた所だからそれを忘れないで。」という言葉が胸にこれからも頑張らせて頂きます！！と改めて心に誓えた大切な日となりました。

そうしてヨーロッパから帰ってきて年末年始、私達は毎年お世話になっている屋神温泉郷で今回も演奏させて頂きました。私は研修生という初心者マークを外してからの初陣です。31日から始まり元旦と三が日全てに呼んで頂きました。演奏が終わり叩き終えた後、有難い事にまた次の年も呼んで頂ける事が決まり、本当に光栄で嬉しく思います。

大変長くなりましたが、今回のニュースレターはこれでおしまいです。これからも破竹の勢いで躍進し、遠くから遠くまで駆け抜けてまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。



お正月演奏！うって下げないで一腰下げて♪

和太鼓TOKARA

2013年アート・リー芸歴20周年と2014年TOKARA結成10周年を記念し、2年間にわたり世界12か国を横断する世界ツアー"風越"。

私たち 和太鼓TOKARA の拠点、長野県飯田市に、風越山(ふうえつざん)という山があります。風が越えてくる山。風越(かざこし)。早朝、風に運ばれた霧が谷へ流れ込む情景は、山が羽衣を纏ったかの様に、厳かで美しいものです。

山脈の連なる長野伊那谷の南に位置する飯田の地で、皆様に支えられ、新しいステージを作り上げ、練習を積み、また次の公演へと旅立つ。海外での公演ツアーが増えるこの数年、私たち TOKARA のエネルギーの原点がここに 있습니다。

風雨に耐え、堂々と美しく聳え立つこの山の様に、それぞれの節目の年を越え、これからも力強く太鼓人生を歩んでいきます。

和太鼓 TOKARA の色として、私たちがこれまで作り上げてきた力強く流れる様な身体表現と、様々なリズムを融合したジャズの様でもある音楽の世界を、ぜひ体感して頂ければと思います。

「風越(かざこし)」2013-2014 世界ツアー
詳細は www.tokara.net/kazakoshi をご覧ください。

WADAIKO TOKARA

和太鼓TOKARAのステージは、伝統的な和太鼓に、中国武術、舞踊の流れるような曲線的動作を取り入れた独自の振り付けと、その驚異的なスピードとパワーが融合し、観る者を虜にする。常に新しい楽曲演奏スタイルを探求し、全く新しいTOKARA流パフォーマンスを創り上げる。世界の様々なリズムを取り入れ、複雑に重なりあったリズムが創り出す斬新な音楽は、ジャズの様でもあり、聴く者を魅了する音楽性の高さが注目されている。

リーダー兼 芸術監督であるアート・リーは、現在の太鼓界をリードするトップ奏者の一人として活躍。2001年、ソロ奏者として、世界で初めて日本政府より芸術ビザを取得。以来、現在に至るまで唯一の外国籍和太鼓アーティストとして日本はもとより、世界に活動の場を広げる。又2005年には、最も権威ある『東京国際和太鼓コンテスト・大太鼓部門』において、外国人初、唯一となる最優秀賞を受賞。

世界ツアー 第一弾

2013年1月-8月

バンクーバー・カナダ / ケローナ・カナダ / ミネアポリス・アメリカ /
ピーサム・イングランド / ペンザンス・イングランド / ダブリン・アイルランド /
エクセター・イングランド / エディンバラ・スコットランド

詳細は: www.tokara.net/kazakoshi



WWW.TOKARA.NET



お問合せ

和太鼓TOKARA

395-0826長野県飯田市松尾水城3598 B-202

TEL/FAX: 0265-59-8768

Email: info@tokara.net

もしくは

wadaiko.tokara.japan@gmail.com

Website: www.tokara.net

これまでのニュースレターをご希望の方は

[Tokara Newsletter subscription site](#)

皆様のご声援、本当にありがとうございます。
TOKARAメンバー一同、ますます精進して参ります。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

和太鼓 アーティスト アート・リー
和太鼓TOKARA

初CD「Toward the Undiscovered Country~未知の世界へ~」。収録曲数 8曲 収録時間 58分

リンクと試聴 <http://www.tokara.net/info/ttuccd-jp.html>

以下にリンクして頂けますと、2012年世界ツアーの様子などがムービーや写真でご覧頂けます。

[Tokara Official Website](#)

[Performance Schedule](#)

[Tokara on YouTube](#)

[Tokara on Facebook](#)

今後の公演のご案内

凱旋公演 友情出演 決定!!
森久美子フラメンコ舞踊団 東京公演
『AMATERASU ~あまてらす~』

2013年5月3日(金) 19時開演

アサヒビール アートスクエア

昨年11月、スペインのバレンシア市で「ジャパンウィーク®」に参加した私達 和太鼓TOKARAは、パラウ・デ・ラ・ムシカ劇場で、森久美子フラメンコ舞踊団 ~和のフラメンコ~ 第5弾 『AMATERASU ~あまてらす~』に友情出演させて頂きました。そしてこの度、念願がかない、東京浅草にて凱旋公演が開催されることとなりました。日本神話「天の岩戸開き」を題材に舞踊団を率いられる森久美子先生による企画 構成 演出の大作です。天照大御神が天岩戸に隠れる原因となった彼女の弟スサノオの尊。彼が高天原で乱暴し暴れる様を和太鼓で表現します。フラメンコと和太鼓のコラボレーション。フラメンカの力強い踊り、ゴージャスな衣装も必見です。公演終了後には、アサヒビールの飲み物を片手に出演者と語り合う時間も有るとか。東京近郊にお住まいの方、またそうでない方も是非お越しください。詳細・お問合せは[こちら](#)まで。

幸い下伊那和太鼓フェスティバル

2013年6月29日(土)

TOKARAが企画し、毎年国際的なイベントとして開催してきました『幸い下伊那和太鼓フェスティバル』今年のスーパーショーには「焔太鼓」の皆さんに出演して頂きます。焔太鼓は石川県白山市の財団法人浅野太鼓文化研究所に所属している、女性のみで編成されたグループです。女性ならではのしなやかな表現をしつつ、大太鼓を中心に据えたダイナミックなフォーメーションを特徴として注目を集めています。そんな焔太鼓とともに今年で8回目の幸い下伊那和太鼓フェスティバルを迎えます、もちろん私達TOKARAも出演します！これからもこのイベントが長野県下の一つの大きな和太鼓のイベントとして定着できるよう努めていく所存です。ご希望の方はチケットもお求め頂けます、詳しくは[こちら](#)まで。また、午前中のフリンジフェスティバルに参加頂ける地域団体も随時募集しております。興味のある方はお気軽にご連絡下さい。